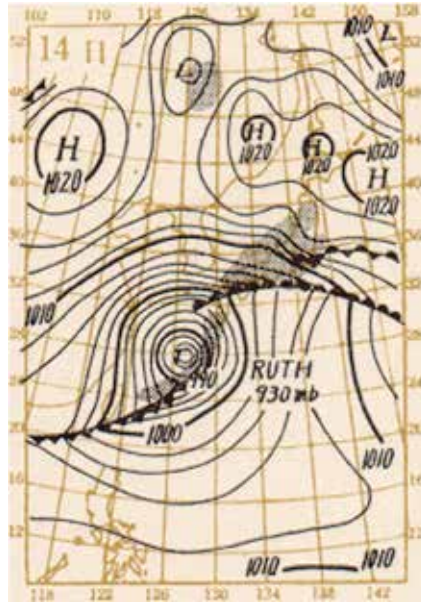
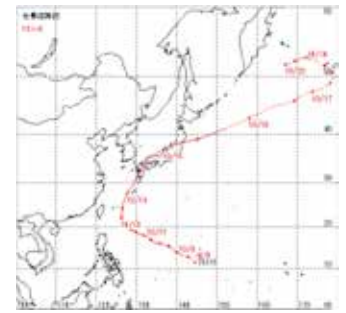


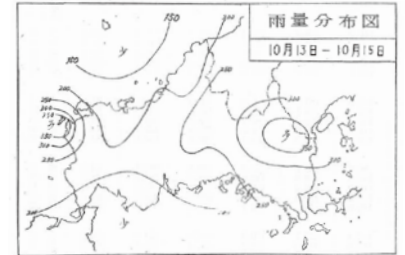
ルース台風の被害を受けた神代村海岸
(山口県文書館所蔵)



天気図(10月14日18時)



台風経路図



雨量分布図(10月13日~15日)



錦帯橋付近



臥龍橋の様子



流失した天尾橋

気象の概要	<ul style="list-style-type: none"> ルース台風は、発達しながら北上し、14日19時頃鹿児島県串木野市付近に上陸した。速い速度で九州を縦断、14日夜遅くに山口県を横断し、15日早朝に山陰を経て、北陸沖に進んだ。 台風の勢力が強く、暴風半径も広がったため、全国各地で暴風となり、また、九州、四国、中国地方で大雨となった。 山口県では最大風速35m/sに達し、県東部では13日から14日の総降水量が480mmに及び、1時間降水量が100mmに達する豪雨となった。 					
	最低気圧(hPa)	962.2(防府)	最大風速(m/s)	23.5(下関)	最大瞬間風速(m/s)	31.8(下関)
	総降水量(mm)	207.3(萩)	日降水量(mm)	131.8(萩)	1時間降水量(mm)	26.3(萩)
被災場所	県内全域、特に錦川流域					
被害の規模	(人的被害)死者281人、行方不明者124人、重傷者269人、軽傷者1,600人 (住家被害)流失465棟、全壊1,646棟、半壊5,427棟、床上浸水7,827棟、床下浸水28,163棟 (その他被害)道路3,267ヶ所、河川2,305ヶ所、橋りょう955ヶ所 など <被害額総計>約327億円					
被害の特徴	<ul style="list-style-type: none"> 錦川上流の玖珂郡(現岩国市)では、死者・行方不明者309人、負傷者1,288人、家屋流失全壊1,159戸、道路破損1,507ヶ所、橋りょう流失587ヶ所、堤防決壊1,263ヶ所に及んだ。また、北河内村(現岩国市)では山崩れにより1集落がほぼ壊滅状態となった。 この台風で、警察予備隊(自衛隊の前身)の災害出動が初めて行われた。 					



ルース台風による大雨で、土砂災害や河川の洪水が発生したんだ。
 台風によって、大量の雨が短期間(数時間から数日)のうちに広い範囲に降るから、
 河川が増水したり堤防が壊れて水害(浸水や洪水)が起きることがあるんだよ。

関係する石碑



いわくにしみかわちょう
岩国市美川町には、ルース台風による被害の状況と最高水位を示す記念碑があるよ。

【ルース台風災害記念碑】

ルース台風により、桑根村(現在の岩国市美川町)では死者 17 名、流失家屋 115 戸という未曾有の被害が発生した。

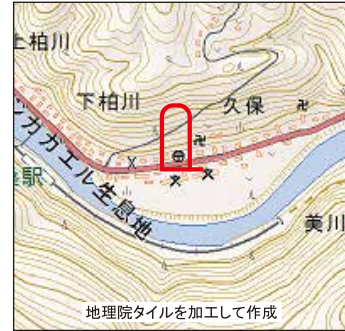
ルース台風災害記念碑は、この災害の状況を後世に伝えるため、災害 1 周年の昭和 27 年 10 月に南桑小学校(現在の美川小学校)に建立された。



ルース台風災害記念碑(岩国市美川町)



最高水位(記念碑側面)



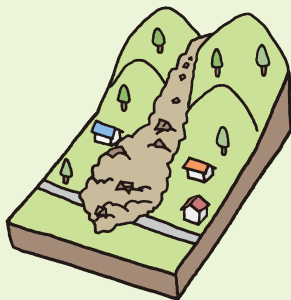
地理院タイルを加工して作成

トピックス

土砂災害

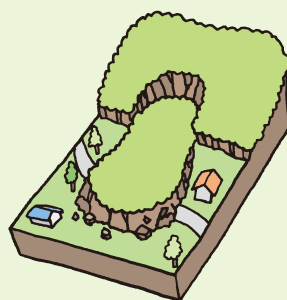


どしゃひがい
土砂による被害(いわゆる「土砂災害」)は、その発生のしかたにより、「土石流」
どしゃさいがい
「地すべり」「がけ崩れ」の3つに大きく分けることができるんだよ。



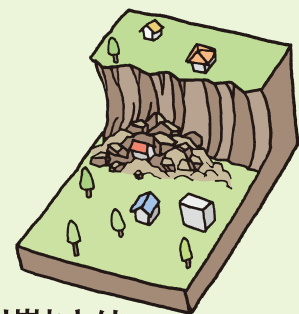
土石流とは

大量の土・石・砂などが、集中豪雨などの大量の水と混じり合って、津波のように流れ出てくるのが土石流である。流れの先端部に大きな岩があることが多いため破壊力も大きくスピードも速いので悲惨な被害を及ぼす。



地すべりとは

粘土などのすべりやすい層を境に、その地面がそっくりズルズル動き出すのが、地すべりである。地割れで田畑や家が壊されたり、押し出された土砂や地面の移動のために道路や建物が広い範囲で被害を受ける。



がけ崩れとは

雨で地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め斜面が突然崩れ落ちるのが、がけ崩れである。前ぶれもなく突然起こることが多く、スピードも速いため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人が多く、死者の割合も高くなる。また、地震が原因で起きることもある。